

また、地震についても、今後30年以内に70%の確率で首都直下型地震の発生が予測されるなど、発生した場合には、避難者自身も感染症対策を踏まえた災害対応を意識することが重要です。言えますか？

害が起きたら

問合先 安心安全推進課防災担当

コロナ禍における避難の考え方

避難とは、「難」を「避」けること。つまり、安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。

特に、多くの避難者で避難所が過密状態になり、コロナ禍においては感染症のリスクが高まります。自身と自宅の安全を確保できるのであれば、「在宅避難」をお願いします。

また、親戚や友人、知人宅への避難も検討しておきましょう。

※ 災害により建物が被害を受け、自宅にいることが危険である場合には、ためらわず避難所など安全な場所に避難してください



「在宅避難」とは？

自身と自宅の安全を確保した上で、住み慣れた自宅での生活を続けることです。大雨などで、浸水のおそれがあっても、生命の危機が生じず安全確保ができる場合は、自宅の2階以上に避難する「垂直避難」をお願いします。



コロナ禍の避難所

通常時とは異なる運営方法

避難者の受付方法

避難所では受付時に避難者の健康状態の確認を行います。発熱や咳が出るなど、感染が疑われる方については、一般避難者と居住エリアを分ける必要があるため、問診(健康管理チェックリスト)により振り分けを行います。



ソーシャルディスタンスによる生活スペースの確保
居住エリア内の生活スペースにおいても、間隔を2m以上とるなどソーシャルディスタンスを心掛けます。また、感染が疑われている方の隔離のために、空いている教室や施設などを活用します。



避難所での注意点

基本的な感染症対策など衛生管理を徹底しましょう
避難所内ではできる限りマスクの着用や咳エチケットなどの感染症対策を行うとともに、十分な換気に努めましょう。

断水などの影響がない場合は、こまめに手を洗うとともに、アルコール消毒液などで消毒しましょう。

水分補給と適度な運動を心掛けましょう

免疫力が落ちてしまうと新型コロナウイルスの感染リスクも高まってしまう。避難所生活ではこまめな水分補給やバランスの取れた食事、適度に体を動かすことが大切です。



「避難所」ってどんなところ？

避難所は、ホテルなどの宿泊施設とは異なり、避難者の皆さんが主体となり、市職員などと連携しながら避難所運営を行います。避難された方は、避難所運営組織のメンバーとして、運営に関わっていくことが必要となります。



第35回鶴ヶ島市総合防災訓練(第二小学校区)は、新型コロナウイルスの影響により、中止となりました。鶴ヶ島市総合防災訓練は、毎年、市内小学校区(8小学校区)ごとの地域住民を対象に、輪番で開催しています。「災害時に地域住民の皆さんが自ら行う避難所開設・避難所運営」を訓練内容の主眼として行っています。

近年、全国各地で集中豪雨や台風などの風水害による洪水や土砂崩れが発生し、多くの尊い命や財産が失われています。いつ大規模な地震が発生し被災するかわかりません。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中で、このような災害が災害発生時にとるべき行動は…、必要な備えは…、コロナ禍ならではの対応は…。あなたは自信をもって「大丈夫」と

もしも今、災

大規模災害発生 そのとき、あなたはどう行動しますか？

災害の種類は数多くありますが、鶴ヶ島市で起こる可能性が高い災害は、地震災害と風水害です。



- 1 揺れが収まるまでは、何よりも身を守る行動(テーブルや机の下に身を伏せ、頭を守るなど)をとりましょう。
- 2 火元の近くにいる場合は火を消し、扉を開けておきましょう。
- 3 防災ハザードマップで避難所や避難場所などを確認し、自宅の倒壊など危険がある場合は避難しましょう。
- 4 避難所も被災している場合があります。まずは、避難場所に一時避難してください。



「避難所」と「避難場所」って何が違うの？

東日本大震災後、明確に区別された避難所と避難場所。避難所は、被災者を一時的に保護し滞在させるための「施設(体育館など)」で、避難場所は、災害発生時、またはそのおそれがある場合に、大人数が一度に避難できる「場所(校庭や広い公園など)」のことです。



- 1 気象庁の情報などにより、あらかじめ災害の発生を予想しましょう。
- 2 内水ハザードマップで避難所や冠水道路などを確認しておきましょう。
- 3 自宅が安全である場合は「在宅避難」をしましょう。
- 4 風水害では、市民センターを中心に避難所を開設します。市が発信する防災情報により開設状況を確認してください。



ハザードマップはHPからも確認できます



自宅の備蓄品を確認しましょう

大規模災害発生時には市の備蓄品だけでは足りません。皆さん一人ひとりが持参できるものは持参する意識を持ちましょう。

災害の種類によっては、発生から復旧までに時間がかかり、避難所生活が長くなるおそれがあります。日頃から、食料や水、非常用のトイレ袋などを用意し、自宅に備えましょう。

また、避難者それぞれ必要なものが異なります。避難する際には、貴重品や非常食のほか、常備薬や普段着などもすぐ持ち出せるように、日頃から準備しておきましょう。

一人ひとりが用意することで、人との接触を避けることができ、感染症対策にもなりますので、ご協力をお願いします。



避難時は、感染症対策グッズも持参しよう！

たとえば…

- ・マスク ・体温計
- ・アルコール消毒液 ・除菌シート
- ・ティッシュペーパー など



「避難所開設の考え方」や「非常時持出品・備蓄品の準備&チェック」についての詳細は、「内水ハザードマップ(情報面)」をご確認ください。